

2025 年度主要事業計画

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日)

我が国は世界有数の鶏卵消費大国であることはよく知られていることではあるが、2022 年シーズンに発生した鳥インフルエンザにより過去に経験したことがないほど鶏卵の供給不足が生じ、その影響により、業務用向け消費を中心に消費が減少し今も最盛期ほどは回復していない。さらに 2024 年シーズンも 2022 年と同様の規模で鳥インフルエンザが発生した状況下では、消費を維持・拡大することが難しい課題となっている。

このようなことを踏まえ、HACCP に基づいた鶏卵の安全・安心への取り組みを推し進めることや、鶏卵の正しい知識や食材としての素晴らしさを消費者に伝えることが肝要であり、さらに推し進めるために 2025 年度の事業計画を次の通りにした。

1. HACCP 関連事業の推進

食品衛生法改正に伴う GP センターの HACCP 導入により、鶏卵の安全・安心を高めるために、HACCP 関連事業の推進を図る。

- 1) 食品（鶏卵）の製造工程管理による安全・安心を確保するため 2013 年に GP センター HACCP 認証団体を立ち上げ、2024 年度末現在、認証 GP センターは 48 施設であり、さらなる承認施設増を図る。
- 2) 食品衛生法などの一部を改正する法律の施行（2021 年 6 月 1 日）により、厚生労働省通知「卵選別包装施設の衛生管理要領」が廃止されたことから、それに代わる「HACCP 手引書」の内容周知を行う。また、状況によっては内容の改正を行う

2. タマリエ検定の充実及び普及

- 1) 三ツ星タマリエ検定は、農林水産省後援の下、検定を開始して 14 年を迎える。

業界はもとより、一般の受験者や料理専門学校の生徒、高校生の受験も年々増加し、鶏卵の正しい知識普及に貢献していることから継続事業とし、東京会場（6 月）大阪会場（10 月）を開催する。規定に則り希望があれば出前検定も実施する。

参考：2025 年 3 月現在 合格者数 3,047 名 （うち 2024 年度合格者数 295 名）

2) 五ツ星タマリエ検定の推進

五ツ星タマリエ検定を開始して6年目を迎える。昨年は資格取得者なしというハイレベルの資格となっているが本年は新たな合格者を迎えたい。たまごの正しい知識や魅力を啓発するイベントの講師や各種メディアがたまごについて取り上げる際の出演者として活躍していただくことを予定している。

参考：2025年3月現在 合格者数10名（うち2024年度合格者数0名）

3. ヤングミーティングによる知識啓発情報発信事業

1) たまごニコニコ大作戦の拡大

たまごニコニコ料理甲子園等を通じこれからの食を担う高校生に、卵の素晴らしさを伝える活動を行う

4. 畜産物輸出協議会に参画

鶏卵輸出部会に参画し、世界一安全・安心な「日本のたまご」の輸出を促進し、我が国鶏卵産業の安定的な発展に寄与する活動を行う。

5. 見学研修会

見学会を通じて専門知識を会得し、会員相互の知見を高める活動を行う。
今年度は9月2日に（株）ホクリョウの見学と研修会を行う。
若手の見学研修会を6月10日、11日に実施し、将来の業界を担う人材の育成に努める。

6. 同業者他団体と協力し、鶏卵の正しい知識普及、消費拡大、安全・安心への取り組みに参画

- ・たまご知識普及会議への参画
- ・「オムレツの会」オムレツの日記念イベント等への参画
- ・中央鶏卵規格取引協議会の市販鶏卵の品質検査に参画
- ・いいたまごの日への取り組み参画
- ・鶏卵公正競争規約に則った活動への参画
- ・鶏卵流通レジリエンス検討会に参画し、鶏卵の安定供給に関する提言作成に関与する

7. その他鶏卵に関する事業

一般消費者やマスコミからの問い合わせ対応を行う。